

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	地理総合
科目基礎情報					
科目番号	0038		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	知能機械工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	わたしたちの地理総合 (二宮書店)、地図帳 (帝国書院)、配布プリント				
担当教員	川崎 有里紗				
到達目標					
1. 世界や日本の自然環境や社会環境を理解できる 2. 世界各地でおこっている地球的課題に対して理解できる 3. 地域の特徴を地図化し、視覚的情報として理解できる 世界各地や日本の環境を理解し説明できることで、国際的視野が身につくことを目標とする。 また、地域どうしの交流や課題などを知り、国際社会に対応できる教養を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	世界や日本の自然環境や社会環境を理解できる		世界や日本の自然環境や社会環境を基本的に理解できる		世界や日本の自然環境や社会環境を理解できない
評価項目2	世界各地でおこっている地球的課題に対して理解できる		世界各地でおこっている地球的課題に対して基本的に理解できる		世界各地でおこっている地球的課題に対して理解できない
評価項目3	地域の特徴を地図化し、視覚的情報として理解できる		地域の特徴を地図化し、視覚的情報として基本的に理解できる		地域の特徴を地図化し、視覚的情報として理解できない
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	この授業では世界各地や日本の自然・社会・文化などを取り上げる。地図や統計資料を用いながら、地理的な見方・考え方を養うことを目指す				
授業の進め方・方法	プリント、視聴覚教材を用いた授業を行う				
注意点	日頃から新聞やニュースを見るようにすること				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	球面上の世界	授業内容を理解できる	
		2週	国家の領域と領土問題	授業内容を理解できる	
		3週	日常生活のさまざまな地図	授業内容を理解できる	
		4週	自然環境1 地形	授業内容を理解できる	
		5週	自然環境2 気候 (1)	授業内容を理解できる	
		6週	自然環境3 気候 (2)	授業内容を理解できる	
		7週	産業の発展1 農業	授業内容を理解できる	
		8週	これまでのまとめ	授業内容を理解できる	
	2ndQ	9週	産業の発展2 工業	授業内容を理解できる	
		10週	言語・宗教と生活文化	授業内容を理解できる	
		11週	経済発展と生活文化の変化 東アジア	授業内容を理解できる	
		12週	宗教の多様性と生活文化 東南アジア	授業内容を理解できる	
		13週	水の恵みと生活文化 南アジア	授業内容を理解できる	
		14週	イスラーム圏の生活文化	授業内容を理解できる	
		15週	試験返却・解説	試験返却・解説	
		16週			
後期	3rdQ	1週	多様な気候と生活文化 アフリカ	授業内容を理解できる	
		2週	さまざまな社会の形成と生活文化 ラテンアメリカ	授業内容を理解できる	
		3週	多文化社会の実現と生活文化 オセアニア	授業内容を理解できる	
		4週	地域統合による生活文化の変化1 ヨーロッパ	授業内容を理解できる	
		5週	地域統合による生活文化の変化2 ヨーロッパ	授業内容を理解できる	
		6週	寒冷な気候と生活文化 ロシア	授業内容を理解できる	
		7週	グローバル化による成長と課題1 アメリカ	授業内容を理解できる	
		8週	これまでのまとめ	授業内容を理解できる	
	4thQ	9週	グローバル化による成長と課題2 アメリカ	授業内容を理解できる	
		10週	地球的課題と国際協力1	授業内容を理解できる	
		11週	地球的課題と国際協力2	授業内容を理解できる	
		12週	日本の自然環境	授業内容を理解できる	
		13週	日本の諸地域の特徴	授業内容を理解できる	
		14週	生活圏の諸課題と防災	授業内容を理解できる	
		15週	試験返却・解説	試験返却・解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	
	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	3	
				環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	
				技術者を指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	3	
				全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	3	
				技術者を指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	3	
	評価割合					
		定期試験	発表・課題・提出物	合計		
総合評価割合		70	30	100		
配点		70	30	100		